

和歌山県白浜町で採集された本州初記録のキカモヨウウミウシ
(軟体動物門, 腹足綱, 後鰓亜綱, イロウミウシ科)

森 敦史*・田名瀬英朋*・久保田 信*・濱谷 巖**

Atsushi MORI*, Hidetomo TANASE*, Shin KUBODA* and Iwao HAMATANI**: First record of a nudibranch, *Chromodoris geometrica* (Mollusca, Gastropoda, Opisthobranchia, Chromodorididae) from Shirahama, Honshu, Japan

1996年8月29日, 著者らは和歌山県白浜町の塔島渡り口付近の潮だまり(水深約1m)において, 壁面を這う美しいウミウシ1個体を発見した。この個体は, その特徴的な体色によって, キカモヨウウミウシ *Chromodoris geometrica* (RISBEC, 1928) に同定された。本種の模式産地はニューカレドニアで, インド-太平洋の熱帯域に広く分布している (RISBEC, 1928; GOSLINER *et al.*, 1996)。日本での分布は奄美以南となっている (濱谷, 1994) が, 今回の記録は本種の分布域の北限の更新となるため, ここに報告する。

今回採集された個体は, 生時の体長が約4cmあり, 本種の最大体長 (濱谷, 1994, p. 161 参照) に達していたといえる。もし本個体が幼生時に着底して生長したのであれば, 熱帯系の種類が田辺湾で十分生長できたことになる。

本個体の地色は薄紫色で, 肉帯背面に黒紫色の網目模様は左右対称に入り, 網目の中にはそれぞれ2~数個の白色の小隆起がある。肉帯前方には縁に沿って白色の色帯がある。また肉帯の周縁は紫色である。2本の触角と8本の鰓はともに基部が白く, それぞれ先端にいくほどライムグリーンに濃く染まる。腹足は全体的に白色であ

る。これらの色彩的特徴のうち, 色彩のパターンは, 従来知られているキカモヨウウミウシの特徴とよく一致するものの, 体全体の色合いは多少異なっている。濱谷 (1994) や GOSLINER *et al.* (1996) が示した個体は全体的に褐色がかっているのに対し, 本個体は全体的に紫がかっていた。本種の体色には, 個体間もしくは地域間で多少の色彩の変異があるのかもしれない。

なお, これ以降, 本種は白浜町番所崎周辺では再発見されていない。

引 用 文 献

- GOSLINER, T. M., D. W. BEHRENS & G. C. WILLIAMS. 1996: Coral Reef Animals of the Indo-Pacific. 314 pp. Sea Challengers, Monterey, California, U. S. A.
- 濱谷 巖. 1994: ウミウシ類. in 奥谷喬司, 編著, 'サンゴ礁の生きもの (山溪フィールドブックス9)', pp. 153-166. 山と溪谷社, 東京.
- RISBEC, J. 1928: Contribution à l'étude des nudibranches Neo-Calédoniens. Faune des Colonies Françaises, 2, 1-328, 12 pls.

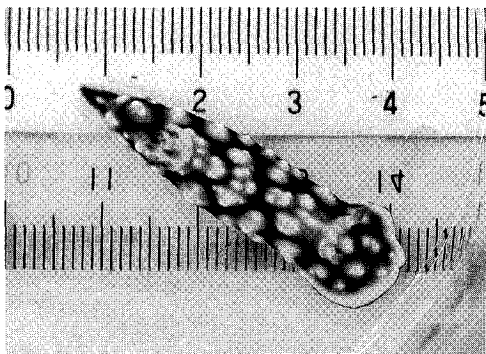


図1 キカモヨウウミウシ, 背面
Fig. 1 *Chromodoris geometrica*, dorsal view.

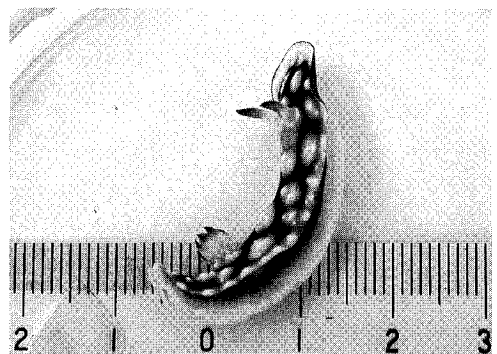


図2 キカモヨウウミウシ, 側面
Fig. 2 *Chromodoris geometrica*, lateral view.

* 京都大学瀬戸臨海実験所 (〒649-22 和歌山県西牟婁郡白浜町臨海)

** 〒596 大阪府岸和田市別所町2-18-24

* Seto Marine Biological Laboratory, Kyoto University, Shirahama, Wakayama, 649-22 Japan

** 2-18-24 Bessho-cho, Kishiwada, Osaka, 596 Japan